

Press Release

2022/6/17

## 松本から株主の皆様へ、株主総会前の最後のお願い

まず初めに、私松本は大きな勘違いをしていた事を株主の皆様にお詫び申し上げます。それは、経営者として自分の進むべき道が絶対正しいと、株主の皆様に問う事なく身勝手に信じていた事です。

2016年1月、社長に就任させて頂いた時に、私の胸にあった使命は、「FVCを社会に必要な不可欠な会社にする」という事でした。

当時のFVCは、ZMP銘柄として注目を浴びていましたが、その一方、もしZMP社の株式を売却してしまえば現金以外ほとんど何も残らない会社になってしまう事を危惧し、社長になる数年前から新たなビジネスモデルを模索していました。

その一つが現在のVaaSモデルです。

ただ、新しい事業モデルが受け入れられるには長い年月を要し、その間、毎期大きな赤字を計上してしまいました。そんな中でも、FVCのサービスを活用する事で様々な将来有望な企業への投資が進み、投資先と出資者とのリレーションが深まることで投資先・出資者の双方に喜んで頂ける事を実感し、この事業は絶対ニーズがあり広がっていくと確信しました。その見立ての通り、業績は改善し続け、ようやく前期2022年3月期に売上高営業利益率10%、経常利益率30%の高収益体質を作ることができました。

新しい事業を作るのは本当に大変で、VaaS以外の事業では大きな損失を計上したり、なかなか結果が出ない日が続きました。真面目で一生懸命な従業員のみならず、成功する未来を信じ、一歩ずつ一歩ずつ進んで来られたのも、「FVCを社会に必要な不可欠な会社にする」という使命感が私にあったからです。

一方、ZMP社の上場期待によって膨れ上がった株価は、時が経つにつれ下がり続けました。毎期の定時株主総会で取締役を選任され続けてきた事で、その都度株主の皆様の信任を得てきたと思っていました。しかし、それは金氏の仰る通り、株主の皆様を選択肢がなかっただけの事であり、この間株価を上げられなかった私は経営者として失格だと言われても仕方ありません。

今回の株主提案で気付かされた事は、「経営者としての行いが正しいのか、正しくないかを判断するのは自分ではなく株主の皆様である」という事です。

その事を気付かせてくれた金氏には、この場を借りて御礼申し上げます。

ここで、株主の皆様にも、株主総会前の最後のお願いがあります。

これからのFVCが、どんな手段を使っても、とにかく短期的に株価を上げる経営者を求められるのであれば、迷うことなく金氏の株主提案に賛成をお願いします。

そうではなく、株価を中長期的に着実に上げていくと共に、社会への価値を最大化させる経営者を求められるのであれば、私には絶対の自信があります。現経営陣を支持して頂きますよう心からお願い致します。

私たちは今年4月、ミッションを刷新しました。

### **人と資本のより良い関係をつくることを通して、社会のすみずみに本当の豊かさを実現する**

多くのベンチャーキャピタルと私たちの掲げる哲学は、一線を画しています。リターンのみを追求するのではなく、人と資本の関係をより良い形にアップデートし続けることで、真の意味で社会に豊かさをもたらすことを追求し続ける。その先に、株主価値の向上を実現させます。

ソーシャルインパクトを目指すファンドが、欧米を中心にすでに大きな支持を集めています。日本でも、岸田政権が掲げる「新しい資本主義」の流れはより加速し、FVCにとっても大きな追い風となるでしょう。

私たちは、こうした流れが起こる以前から、地域金融機関とのファンド組成や、社会課題を基軸に据えたファンドの立ち上げなど、他社に先駆けて社会課題の解決を目指すベンチャーキャピタルのあり方を模索し続けてきました。そこで培った経験やネットワークは、今後より一層、経営に活かすことができると考えています。

地方創生、オープンイノベーション、子育てや格差是正、働きがいの創出……こうした課題を解決する多様なスタートアップへの投資が行われ、投資を通じて社会が豊かに変わっていく。FVC株主の皆様と共にそれを実現し、FVCの株主であることを誇れるような、そんな未来を実現することを、ここに誓います。

以上

#### **本件に関するお問い合わせ**

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社  
電話：075-257-2511 メール：fvc-kyoto@fvc.co.jp